



広野駅東側ロータリーでの負傷者搬送訓練



広野みらいオフィスでの垂直避難訓練



ドローンの機能説明を行う情報収集訓練



築地ヶ丘公園に設置された避難所



広野町社会福祉協議会による避難実演訓練



ドローンの飛行演習を行う情報収集訓練



地震・津波防災訓練アドバイザーによる防災講話



避難者による災害用簡易間仕切り設置訓練

もしものために…今できることを、やっておこう! 令和5年度

広野町地震・津波避難訓練

10月22日(日)、町内において広野町地震・津波避難訓練を開催しました。今回の避難訓練は内閣府(防災担当)と福島県と連携した訓練として、広野町と広野町消防団・婦人消防隊の主催、双葉警察署、富岡消防署、広野町社会福祉協議会、(株)大和田測量設計、ふたば未来学園高校、第1・13行政区の協力の下、参加者約180名の大規模な訓練となりました。当日は午前9時30分に訓練開始の防災無線が流れ、町内全域でシェイクアウト訓練を実施しました。その後、広野みらいオフィスで垂直避難訓練、広野駅東側ロータリーにて負傷者搬送訓練を実施、築地ヶ丘公園にてドローン飛行による情報収集訓練などを行いました。避難所である中央体育館では、避難者による災害用簡易間仕切りの設置訓練や地震・津波防災訓練アドバイザーである宇都宮大学の近藤伸也准教授による防災講話を実施し、参加者の防災意識の高揚を図りました。



対策本部会議の様子



内閣府による講評(終了式)



遠藤町長挨拶(開始式)